京城日報 / 年中無休刊

社説

波蘭問題と各國

[illegible]

殖民地概説（三六）

拓殖局編

第四節　殖民地の法制

第三節　事實

第一　朝鮮

朝鮮に於て現在專賣を施行せるは紅蔘の專賣なり、人蔘は古來朝鮮に於ける特有物なるが特に[illegible]

[illegible]

露國に對する佛米の態度

[illegible]

米國尻尾を出す

[illegible]

地方制（八）改正

朝鮮學校費令規則

第一章　學校評議會

[illegible]

第十條　學校評議員にして第三條又は第六條に規定する資格を失ふに至りたるときは其の職を失ふ其の資格の有無は郡守又は島司之を決定す

[illegible]

日日詩壇

松田學鷗選

[illegible]

一日一人（三十八）

ヒマラヤ山人

渡邊老警視

[illegible]ら渡邊鷹次郎と云ふ老警視である。大垣老の口調では無いが、知らぬ人は知らぬが、知つた人は知つて居る人である。渡邊老は朝鮮の日本公使館附巡査として明治十五年渡鮮し、其れより引き續いて警察界に居る人で、此人以上に古い人は居るまい、朝鮮語が出來るので昔から朝鮮人側を受け持つて偵察をやつて來た、今でも其仕事をやつて居るが、何分老人である[illegible]

[illegible]を委君として居るので朝鮮人方面には非常に受けが善い、其れに人物が至極温和であるから少しも驕氣が無い、こゝが氏の朝鮮人側に於ける第一の理由である。朝鮮人の刑事として今日迄相當の成績を擧げて來た[illegible]鮮人の貴族兩班の消息には最も明るい、朝鮮人の古い政治關係の消息には最も明るい、此方面に就ては恐らく今日でも何事か事件の起る度毎に氏の智識に待つ所が多からうと思ふ、全く朝鮮人側の刑事の元祖と云ふべき人だ。氏は東京市に原籍を置いて居るが、千葉縣の生れである。嘉永四年の生れと言へば六十何歳である、明治十年西南役に從軍して後巡査となつたのである。鮮人要者の間に三男三女を設けて居る。

創作

逆流（十八）

森　漱波

愈々決心をして旦那の會社へ電話をかけて見ようと思つてからも數日は過ぎて了つた。

「もう來なければ來なくても好い」と言ふ決心にもなつて見たがさう言ふ時には、愈々一身を捧げて行かうと思ふ男の、確乎としない好い加減な態度が、何とも言へぬ頼りなさをてる吉の胸に響かすのであつた。確實に摑み切つたと思つて居た男の心を、存外摑み切つて居ないと言ふ事を發見した時てる吉は今更の如く、自分の淺さを身に浸みて感ぜられた。[illegible]

[illegible]つて今の[illegible]と言つて貰ふと[illegible]の手から出して[illegible]んでも及ばぬ事であ[illegible]。それこれを思ふと、てる吉は[illegible]に[illegible]して居る氣分には、奈何してもなれなかつた。

男と會ふても、いつもてる吉は[illegible]をして相談して歸つた。[illegible]になららうと言ふ話は、男の間には出なかつた。

此頃では[illegible]一日、てる吉は思ひ切つて電話の受話器を耳に當てた。旦那の會社の番號を呼んでからも幾度か躊躇つたが、もう待つても立つても居られないと言つた様な氣分が[illegible]

そこに[illegible]つて居た。

旦那はいつも言つて居た。「會社の電話は交換手が聞くから、滅多な事は言はれない」と。

てる吉は今は、そんな事を考へて居る暇がなかつたのであつた。そして出て來た交換手に、旦那の名を言つて、取次を頼むと、暫くしてから「御休みです」と言つて電話は切れて了つた。總ての期待、總ての望みから投出された様な失望をてる吉は感じた。

旦那との間に結ばれた永い縁の糸の總てが、儚ふしたあつけないラストの幕に近づいた様な氣がした。

「何うでもなつたら好い、旦那ばかりが世の中ぢやない」

どん／＼自暴して思ひ切り酒を飲んで燥やぎ廻つてやらうと思つて見たりした。けれ共それかと言つて二十二三の若い妓でない以上、まして從來が一二の茶亭に限られて居たてる吉としては、から斷つて外の座敷へ出掛けて行つても、いつも其處には自分より若い妓があつて、座が白ける頃にはてる吉はイの一番にあいて歸つて來て了つた。

苦しい借金がチリ／＼とてる吉の周圍に、遠慮會釋もなく押し寄せて來た。

一夜の座敷がかゝつて來てる吉は出かけて行つた。

お客は一人で、ポツネンと座敷に坐つて居た。仲居に訊いても初めてのお客だと言ふ。唄も唄ふでもなく、三味線を彈かせるでもなく、さうかと言ふて酒も飲むでもなく、てる吉を前から知つて居る様な態度で、面白くもない皮肉を言つたりした。

「一つ歎きましようか」などと言つてる吉は、何となく其客が癪に觸つて、盃を重ねて居る内に、何時酒の酔ひが身に廻つたと見え、やがて燃える様に熱して來て、種々な事を勝手に喋り出したりした。

「一郎、そんなに不景氣な顔をして居るもんぢやないわよ、五六人呼んで騒ぎませうよ」

てる吉は[illegible]な事を言つてゝる吉は燥やぎ廻つたりした。

内外電報

對日問題の講究
英國殖民地會議開催

日英同盟に就て殖民地會議は十月バンクーバに於て開催せらるべく英國首相は之に出席のため後華聖頓に立寄り米國國務卿と對日問題を協議すべし（紐育來電）

米の諒解容易ならず
薩哈嗹占領問題尚紛糾

サガレン州占領に關し米國政府の抗議に對し我政府の說明的回答は去十四日幣原大使より米國々務卿コルビー氏に手交せられたる趣きは既に其の筋にも報告ありたることとなるが其の後米國政府の態度は依然として我政策を諒解せざるものの如く尠く共満足する迄には尚十分の說明を要するものあるべく即ち米國側に於て日本の對西伯利政策とサガレン州占領とを別箇の問題として考慮し薩哈嗹占領に不満足の意を表し居れり然れば米國は再び是等の關係に就て說明を求め來るべく觀測せられ居れり尚米國は今回の日米折衝顛末を發表する意を有し居れども之は日本と商議の上ならでは決定する能はず右に依りて米國政府は我政府に向つて照會を通告し來れりといふ（東京來電）

米國婦人參政實施

テウツシー州婦人參政權の實施の憲法修正の件を批准したるを以て婦人參政權は米全國を通じて實施せらるゝ事となれり（桑港來電）

勞農義勇兵募集

トロツキーは南露戰線に要する義勇兵を召集せり（莫斯科來電）

緩衝國假設定決議

モスコウにて開催中なりし極東問題に關する會議は左の決議をなして終了せり

極東に關する事件はオムスクに在る西伯利局の管轄外に置く事而して大極東政策は人民委員會に附議すべく同委員會は更に極東事件に就き審議すべき特別委員を任命すべし尚同會議は極東に民主々義に基く緩衝國假設定の件を決議したるを以て之に關聯して極東政府閣僚の更迭あるべく期待せられつゝあり（浦鹽來電）

齊多駐屯兵撤退案

陸軍省發表第五師團はチタ附近に駐屯しありしが主職の派遣隊を以て八月十日より該附近を撤退し東進せり而して其の先頭は八月二十三日頃予品に到着の豫定なり（東京來電）

外蒙獨立の劃策
ウンゲル將軍恰克圖に據る

昨日チタよりの情報に依ればセ軍は已に撤退準備を完了したり而して軍の主力はボルジヤに集決せらるべく軍司令部はマツエフスカヤ附近に止まるべしといふがチタに於ては軍政府諸機關の後方撤退を開始し過激派の襲撃と目されたる第一チタの如きは警察撤去と共に忽ち無秩序混亂状態に陷りたり

セ軍の將軍との間に種々軋轢の噂傳へられたるペロンウンゲルはセ軍のチタ撤退を潔しとせず獨立行動に出で手兵三千を率ひて蒙古に入り恰克圖に於て蒙古人義勇軍を募集し過激派に對抗をなすと共に所謂蒙古獨立を計畫すべく既に本據をベルシヤを出發したりと（哈爾賓來電）

支那セ軍監視嚴重

支那當局はセミヨノー軍が滿洲里に至らば其武裝を解除せしめて監視を嚴重にし萬一命に服せざる時は武力に愬へて之を强制する旨議決せり（北京來電）

聯盟全權委員内定

十一月十五日よりゼネバに開會の國際聯盟總會に出席すべき全權委員は左の如く内定せり

▲駐佛大使石井菊次郎▲駐伊大使林權助▲外務省より矢野眞、石丸優三、諸方駿一氏等目賀田男と同行すべし（東京來電）

陸軍國際聯盟委員

來る十月巴里に於て開催せらるべき國際聯盟總會に我陸軍より出席すべき委員は左の如く決定したり（東京來電）

海軍委員海軍中將竹下勇▲同補佐官海軍大佐大角岑吉▲同海軍大佐河純一▲同海軍少佐洪泰夫

陸軍航空兵大佐として大佐級より派遣さるべく本月末日迄に決定の筈

外交官大異動
新進登用近く發表

外務省に一局増設及波蘭羅馬尼亞、瑞西、墨西哥、和蘭、智利、秘露、白耳義、巴奈馬、パウル等の大公使館の新設並に滿洲里其他の公使館等の任命に就ては蘭西班牙和蘭等の大公使の更迭を見るべく既に確定し更迭の外交官の大使は最に出淵參事官を代理大使に任命し當分正式大使を任命せざる方針なりしが英國側が正式大使を任命せるを以て日本も成るべく速に大使を任命せざるべからざるに至り獨逸大使を希望し居れると又他に適任者を得る能はざるに因り日置氏の任命を見るべく其の他人選に就ては…

勅令公布さる

十九日官報を以て左の勅令公布せられたり内朝鮮關係の分左の如し

（一）朝鮮駐剳陸軍部隊給與令中改正の件（二）明治四十四年勅令第三十號朝鮮軍人に關する件中改正の件（東京來電）

子爵議員選擧

十九日午前十時より華族會館に於て子爵議員の補缺選擧を行ひたるが其結果左の如し（東京來電）

當選二第四票　子爵渡邊千冬
同　二八一票　子爵六鄕政賀

臺灣知事決定

臺灣總督府地方官制改正に伴ふ州知事以下地方官吏の人選を終了し既に任命の手續を其筋に向つて申請中なるが政府の決定を經て九月一日任命せらるべく右の内州知事の人選は左の如し

臺北州知事　土木局長　相賀照鄕
新竹州知事　警務局長　服部仁藏
臺中州知事　臺中廳長　加福豐次
臺南州知事　臺南廳長　枝德二
高雄州知事　務局長　富島元治

右の結果として現土木課長山形要助氏土木局長に昇進し警務局長は…

上村中將逝去

海軍中將上村彦之丞氏は去る二十五日より同族の病患にて療養中の所…（東京來電）

合辨信託開業

日、英、米、佛、支五國合辨信託取引所は廿日營業を開始す總裁は我が協議氏副總裁は我が新野中將（前陸軍大臣）にして資本金二千萬元金銀證券の取引を爲す筈（天津來電）

樺太長官派遣

政府はサガレン州占領に伴ひ露領樺太と接壤の地たる日本樺太とは密接の關係を有し居れるを以て同方面との關係に就て樺太長官を同方面に派し同地を觀察せしむるは…

財界樂觀を許さず
有賀殖産頭取談

東上中の殖十九日夜歸城せる殖産銀行有賀頭取は語つて曰く

最近内地に於ける一般經濟界は稍立直りの形勢ありて頗る樂觀を唱ふる者あり亦之と全く反對に悲觀說あり其是否は暫く斷言するを…

資金潤澤

なれ共金融は尚…

債券賣出

を決定せり…

梗塞依然

として回復せず…

留學生激增
文部豫算五十八萬圓

文部省にては十年度豫算に留學生費として五十七萬九千圓を計上する事となりたるが元來同省留學生は一年六七十名に過ぎざりしも…

治安警察法審議

…最近の通常議會に於ても問題となり既に特別議會に於ても亦論議せられたる治安警察法第五條第二項の女子及未成年者の入會禁止に就ては其の後内務省に於ても…

四省聯防内容

湖北、湖南、江蘇及び江西の四省聯防說が八ケ間敷い問題となつたのは既に久しい以前であつた…

福建激戰近し

慘狀に陷る

久保局長辭任說

林野調査會傳

滿蒙に於ける豚毛

北露木材輸出

英露通商保證

漢江の洪水及治水策（三）
本間孝義氏

本表に示すが如く大正九年の最高水位は大正八年より凡て高く殊に漢江中流部に於て…

滿洲に於ける石炭戰
撫順炭開平炭に蠶食さる

第五師團兵…

警務局會議

京綏鐵道復舊

總督官邸午餐會

女教員内地觀光

營林廠の着材

元山鹽況閑散

人事

風塵錄

海外經濟電報

財界餘滴

京城株式取引市場

仁川期米特電

東京期米特電

大阪期米特電

本社主催講演會

慘虐なる赤軍の毒手を脫する迄

終始血と汗に彩られたる大朝特派員中平氏苦心談（下）

[illegible]

滿洲の山奥に鮮人ばかりの小自治國

二千戸の部落に韓國旗を飜し小中學校も設け獨立の生計　基督教徒が牛耳を把る

[illegible]

打ち碎かれてストーブの薪

[illegible]

東宮殿下御慶事

明年御成年を俟つて四五月の吉辰を卜し御擧式の豫定　或は仲秋淸凉の候か

皇太子裕仁親王殿下には來る十月卅一日天長節祝日を以て陸軍步兵少佐並に海軍少佐に御進級あらせらるべく尚明年三月には御學問所を愈御閉鎖の御豫定にて殿下には明年四月二十九日を以て滿二十歲とならせらるに依り四五月中の吉辰を卜して久邇宮良子女王殿下との大婚を御擧行のこととなるべし或は御都合に依り仲秋淸凉の候なるやも知れずと拜承す（東京來電）

穀物豐穰

[illegible]

牛耳を把る

[illegible]

一小韓國

[illegible]

八百名の馬賊隊

東支沿線來襲計劃

[illegible]

猫（三）

運ましい花奴

[illegible]

城壁を成したる一大水田經營

[illegible]

反過激派四分の三

[illegible]

コレラ講座（四）

保菌者とは何か

當局者が取扱上の苦心　越川府衛生主任の談

[illegible]

保有する者

[illegible]

流行の際

[illegible]

病毒者

[illegible]

取扱ひ

[illegible]

誤解す

[illegible]

不良少年等の女學生殺し公判

開廷十五分にして公開禁止　被害者家族も傍聽す

[illegible]

江原道で獨人の農業

克苦精勵着々成績を擧げる　憫怠な内鮮人へ好い東洋

[illegible]

日本へ歸化

[illegible]

朝は四時半

[illegible]

大連の大相撲

降雨にて入掛

[illegible]

暗夜の徒步旅行

[illegible]

妻に嫌はれて鹽酸自殺

[illegible]

巡査罹疫

[illegible]

不良鮮童

仁川を荒した一網打盡さる　被害山の如し

[illegible]

府内の虎疫約七百名

幾分下火の徵あるも郡部方面意外に猛烈　長山島に虎疫

[illegible]

飛んだ肯髏の良薬

[illegible]

阿片密賣の片割

[illegible]

京城四券番　十美人投票募集

入眼でも眼をあいて居れば解らない。味噌齒でも口を閉ぢて居れば氣がつかない。隱し切れないものは猪鼻とちゞれ毛ばかりだ乞御注意

▲投票される藝者　京城券。中券。新券。東券

▲投票方法　本紙刷込投票用紙に限る郵便ならば本社美人投票係へ其他は各所備付の投票箱へ

▲投票締切　九月二十五日正午限り

▲發表方法　毎日正午迄の分を翌日の紙上に掲載し最高九月廿五日の締切は二十七日紙上に發表

▲賞品其他に關しては追て發表す

代議士に當選したとて豪い人とは限らず博士にも馬鹿が居る。令夫人の中にも淫婦の前身がある。十美人に當選したとて京城第一と自惚るな

運動界

鮮馬の鮮

明大野球團　十九日朝大連　二十日京城着二十一日龍山グランドに於て試合を行ふ

[illegible]

商工の切符價値

[illegible]

▲女給仕入用（名）　京城日日新聞社

小説 照手姫 四十九

旭亭桜山口演

妖蛇を切つて放つ

[illegible]

怖うございますから彼處をして居る所を一人で射殺した方が宜しからうと思ひます、どうか一切手前にお任せ下さい、七八日の内には屹度退治して御覧に入れます」長「其れならばどうぞ何分お願ひ申します」と村長から村内の者へ話をしたから一同も大いに喜び [illegible] 助蔵は宅へ帰つて其の事を娘に話すと、[illegible] 其れは出したら宜うございませうと勧めしませうが、娘は却つて助蔵に勧める位ソコで助蔵は女の髪の毛を集めて之を助り緯み、油で練つて多く蓄へ、弓矢鏑箭を携へ、身軽に扮装ち、夜の更けるを待つて只一人櫻の池の邊りへ來つて見まするを、時木蔭に潜と生ひ茂つて誠に物凄き有様、そこで用意して参つた髪の毛を池の周圍の所々に置いて之に火を放けますと青い火がボツと燃えます、只でさへ毛の燃えるのは臭うございますのに、これは油で練つてございますから、小次郎助蔵今こそと鏑箭を拾て弓押取り、矢を番へたる事にして只管池の中央に眼を配つて居ります、と、間もなくパツと先方が明るくなつて参り、現れ出でたる一頭の大蛇、此つ方を指して進んで來ますから、助蔵キリ／＼と引絞つて兵弗と切つて放てば誤たず大蛇の頭上に命中した、流石の大蛇も是にて倒れるかと思ひきや、[illegible] 小次郎を睨んで進み寄らんと致しますから、此つ方は後へ下がつて二の矢を番ひ狙ひを定めて切つて放てば是亦然矢ならずして大蛇の咽喉深く射込んだ、すると池は [illegible] 宛然燃え返るかと思ひましたが大蛇の姿はいつか波間に消え失せて、雷雨も漸う晴れ上りましたから、扨ては大蛇も急所を射られて池の中に沈みしか、是れにて好しと小次郎助蔵ヤオラ其の場を去らんとすると、[illegible] 恐らくは [illegible] 心地にございましたが、時經て漸う [illegible] 這う／＼の體で我家へ戻つて來ました。

讀者の聲

投書歡迎

[illegible]

演藝案内

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

大正館

櫻井町　電話八七三

來る八月廿一日より大提供

▲實寫「聖野探險第四」長尺

▲佛國パテー會社傑作

▲ニコニコ喜劇「玩具の鐵砲」長尺

▲米國オクタゴン映畫會社提供（第六回）偵探の怪奇劇 連續「人間タンク」全十五篇の内第十一、十二篇

▲新派悲劇 山本・東・京野一派新規大撮影 川上眉山氏原作「觀音岩」全六卷

毎月一日、十五日、日曜、祭日、晝夜開館

喜樂館

本町一丁目　電話九七番

ナムバーワン

御三家三勇士 全七卷

[illegible]

朝鮮郵船

木浦出帆		
大阪行	八月十九日	濟州丸
釜山行	八月十五日	巨濟丸
濟州島行	八月十五日	公州丸
多島海行	八月十九日	慶興丸
仁川行	八月十六日	全州丸

仁川出帆		
大阪行	八月十七日	新濟州丸
新義州行	八月十六日	咸鏡丸
木浦行	八月廿一日	全州丸
青島行	八月十八日	江原丸

元山出帆　釜山出帆　[illegible]

朝鮮郵船株式會社

釜山支店　電話一八四番

元山出張所

京城取扱店　松原運送店

第七回賣切御禮　停滯殘品見切

第八回　玩具　賣廉

六百五圓

内田玩具店

男女 毛深き方へ

害なき最新發見の毛生止藥を詳報す

ペルミン

補血滋養强壯劑

月收百圓 有利事業 特約店募集

京城太平通二丁目　大陸之實業社

内科 眼科 小兒科

入院隨意

本田病院

京城肛門病痔疾療院

極力大勉強

請合雨傘製造

提灯類新調張替

迅速叮嚀調進

立山傘提灯店

鈴木種苗店

京城若草町九七

株式會社 朝鮮實業銀行

七月十五日營業開始

資本金五百萬圓

急告

コレラ豫防注射

京城のコレラは益々猖獗を極む　慘又慘豫防注射を至急せられよ

內科 小兒科　池上病院

改良特許 文字合錠

絶對安全

取次店　釜山日報代理部

痔疾患者に告ぐ

痔疾ドクトルエキス

東洋家庭醫學研究會

東京工科學校

第二期前各期生徒募集　無試驗編入

富安本店

トミノアブキ

富安支店

西洋洗濯所

御用達　許可

ラクトーゲン

決して腐らず固らぬ

母乳そつくりそのまゝの成分を粉末にしたる 粉末純乳

サラ／＼とした粉末純乳

梅雨から夏にかけては何も斯も誠に腐易く殊にコレラや赤痢の流行する此際に

可愛い／＼赤ちやんにお乳が無いとて

不安な牛乳やコンデンスミルクをお飲せになるは實に危險でございます

英國保健衛生醫務局の報告によると

▲母乳で育てられてゐる嬰兒に比べて牛乳營養兒は七倍、コンデンスミルク營養兒は十四倍も多く病気に罹ります

ラクトーゲンは少しも此弊害がないのでお醫者様が盛んに御使用されてゐます

發賣元　株式會社 乾卯商店

萬年筆形ナイフ

「萬年筆形ナイフ」現る

定價壹本壹圓五拾錢　送費拾錢

發賣元　株式會社 釜山日報代理部

嶋屋製　最上醬油

京城

品質第一

多や志味噌